

令和 6 年度 保育園の自己評価について



当法人が保育事業の運営を開始し 15 年が経過しました。この歳月の積み重ねが、子どもたちにとってかけがえのない大切な育ちの日々であったかを振り返り、令和 7 年度からのこども園移行に向けての重要な岐路となる令和 6 年度は、いろいろな人とののかかわりや経験、体験の場を多く設け、子どもの興味を引き出し、「知りたい」、「やってみよう」とする気持ちを大切に、子どもの成長につなげてきました。

これらの取り組みに対する評価を今後に活かし、「遊び体験を通しての学び」を主軸として、共に育ちあえる教育、保育施設運営を目指すと共に、保護者の皆様、地域の皆様との交流を深め、「人とのつながりを大切にした子育て支援」に努力を重ねてまいります。



〈西田原保育園〉

～健康は日々の食から～

コロナが 5 類となり、私たちの生活にも日常が戻りましたが、今も変わらず健康の大切さを感じる毎日です。そして子どもたちの健康を支える一つに食があると考え、今年もいろいろな食育活動に取り組みました。食べるだけでなく、日頃口にしているもののできる過程や素材の味を知ることが食への関心にもつながります。

今年度は、おにぎり遠足、切り干し大根作り、クッキング、5 歳児によるお味見隊、赤しそシロップ作りなど新たな活動を実施しました。これらの活動は大人からの発信だけではなく、子どもが興味をもったことから端を発し取り入れたもので子どもたちが目を輝かせいきいきと取り組む姿が印象的でした。こうした子ども主体の体験から食への興味をより広げることが出来たと感じています。今後も楽しい食育を子どもたちと共に考えていきたいと思っています。



《今年度の取り組み》

【異年齢交流】

異年齢交流の時間を設けるだけではなく、日頃から好きなあそびを楽しむ中で保育室を行き来したり、昼寝の見守りなど大きい子が小さい子のお世話をしたり、生活の中での関わりも大切にしてきました。その中では小さい子にペースや視線を合わせて関わる大きい子の姿や、出来ないことも大きい子を真似て自分でやってみようとする小さい子の姿が多く見られました。またそうした姿を運動会や発表会などにも活かし、今年度は異年齢で楽しむ活動を取り入れました。頼ることで得る安心感、頼られることで得る自信や自己肯定感がこれまで以上に感じられる一年となりました。

【地域交流】

園医であるはしもと総合診療クリニックが主体となって地域の繋がりを生み出す「ちいちかけん（地域に力と健康を）」さんと共に、地域の方と子どもたちを繋ぐ機会をつくってきました。花壇づくりやその花壇で育てた花を使ったほうきづくり、思い出制作缶バッチ作り。また、夏野菜植えや焼きいも、絵本の読み聞かせなどでも地域の方との交流を楽しみました。多くの方と関わる機会により子

どもたちは家族以外の人とも親しみをもち関わる良い機会となりました。

【小学校との交流・つなげる保育】

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を話し合い各年齢の発達を見守り、つないでいけるカリキュラムを大切にしてきました。小学校とも連携して作成する『接続カリキュラム』の確立に向け小学校と話し合い、今年度は学校訪問や 1 年生との交流だけでなく、授業体験や ZOOM を使った交流も行いました。5 歳児は小学校生活のイメージがもて、不安が和らぎ期待感が高まった様子です。

【第三者評価からの改善】～昨年の受審結果からの取り組み～

	課題・改善点	達成目標	改善スケジュール	成果
1	保護者は苦情・相談などについてどのくらいあるのか、対応しているのか理解できていない	年間件数を把握し伝えるべきである事とそうでない事を精査し理解をはかる	園評価に数値を記載し保護者に公表することで園に対する意見がどのくらいあるのか理解していただく	昨年度園評価に掲載。今年度は保護者から頂いた意見は保育アプリにて改善策や対応と共に公表した
2	人材確保につながるよう積極的にアピールしていく	ホームページに園の活動をどんどん掲載し広くアピールしていく	写真を掲載することで活動をわかりやすくし働きたいという人材確保につなげる	ホームページの更新頻度を増やし取り組みを発信した 新規採用者、数名確保
3	クレドカードを作成し職員がいつでも理念や目標が目に見えるようにする	理念や自己目標を目にする機会を多くすることで職員の意識をより高める	園理念・職員行動目標を入れたカードに一人ひとりの目標を記載し良く目につくところに置いておく	研修の場で都度理念や目標を確認し意識し合う 定期的に個人目標を自己評価し意識する機会とした
4	中・長期計画に基づき認定こども園移行に向けて、研修体制を整えていく	異年齢保育を取り入れ保育活動の見通しをはかる	異年齢保育に取り組み課題点や学び合いたいことを研修に取り入れ職員の知識や理解、意欲を深める	法人保育園全体研修(2回)や園内にて異年齢保育や認定こども園について学んだり意見交換をしたりする機会を持った
5	園長不在の職務権限を明文化する	園長不在の権限委譲を明確化し、人事育成や組織力の強化	権限委譲を分担表にて明文化する	明文化し、職員間で共通理解している

【職員研修】～年間の研修計画を作成～

保育士のスキルアップを目指し、様々な研修に取り組みました。子どもを理解する為に子どもを取り巻く環境に視野を向け、関わり方や援助の仕方を学び合いました。

- ① 安全管理研修…安全計画を基に、日常のヒヤリハットから何度も話し合い、事故防止に努めました。
- ② 虐待研修…虐待を防ぐための体制づくりや支援のあり方について、講師を依頼し学び合いました。
- ③ 人権研修…子どもの人権を守る保育について確認し合い取り組みました。また、各職員が子どもへのかかりについて“セルフチェック”を行いました。自己評価の一部を記載します。

＊否定的な言葉は使わないようにした。また言葉にできない子どもの思いを汲み取り関わるようにした。
＊職員間で保育観の違いが生じた時にも子どもにとって今何が必要なのかを話し合い考えるようにした。
＊子どもを一人の人として「リスペクト」する見方を大切にしながら話すのではなく自分で気づき考えられるような関わりを意識した。
＊適切な言葉がけに悩むこともあるが他の職員の言葉がけから学んだり自分を振り返ったりして、より良いかかわり方や言葉がけを身につけたい。

【一言目標】～各クラス前に掲示～

4月に「クラス目標」と、各自の「一言目標」をかかげ掲示することで、日常生活の上で大切にしたい事や保育士として心がけたい事などを目標にしてきました。

1年を振り返り目標を達成することができた事は引き続き取り組み、また新たに来年度への目標を持ち、自身の保育力を高めて行きたいと思います。



〈桔梗が丘保育園〉

～楽しかった活動を子ども達に聞いてみました～

【5歳児】＊プール遊び ＊親子遠足 ＊運動会 ＊夏まつり＊サッカー教室

＊異年齢での制作 ＊お店屋さんごっこ ＊やきいも ＊こま、なわとび

【4歳児】＊親子遠足 ＊水遊び、プール遊び ＊運動会 ＊やきいもやクッキング

＊運動会 ＊お店屋さんごっこ ＊“わわわの日”や“にこるんタイム”

【3歳児】＊お外で遊んだこと ＊運動会 ＊粘土やブロック遊び ＊にこるんタイム

＊朝の体操やマラソン ＊らいおん組のお店屋さんごっこ

子ども達には、たくさんの思い出ができたようです。友達と一緒に遊ぶ楽しい活動を、これからも考えていきたいと思っています。

《今年度の取り組み》

【異年齢交流】

“わわわの日”と“にこるんタイム”の活動をきっかけに、子ども達の中で年齢の枠をこえて、関わりが広がりました。日常の遊びや活動を通して、自然に関わる時間が増え、声を掛け合ったり意識したりする姿がたくさん見られました。

年中・年長児は、自分より小さい子への気くばりを進んで行い、また、小さい子は大きい子へのあこがれの気持ちをもって、様々な活動を一緒に楽しんできました。

異年齢交流をすることで、子どもたちにとっては貴重な体験ができ、社会性や協調性といった生きるために大切な力を身につけるきっかけになっていると思います。

【地域交流】

地域に開かれた保育園を目指し、地域活動に参加してきました。

高齢者サロンや市民センター展への出展、勤労感謝の日にお世話になっている方々へのプレゼントおひさま市場など、地域へ出向いていく機会をたくさんつくりました。

また、来園していただける機会として、なかよし広場や焼き芋などで交流をもちました。

【小学校との交流】

桔梗が丘小学校の校内見学、一年生との交流をさせていただき、小学校にちょっぴり不安だった気持ちから、体験を通して少し期待がもてるようになりました。



【第三者評価からの改善】 ～昨年受審からの取り組み～

	課題・改善点	達成目標	改善スケジュール	成果
1	法令遵守を正しく理解できているかを確認する研修の実施	コンプライアンスを正しく理解し、行動できるようにする	全職員が参加できる研修体制を整え、継続的に実施	全体研修年2回実施。園内研修で取り組んだ
2	ホームページやリーフレットを活用し、日頃の取り組みや園の強みを積極的にアピールし人材確保に繋げていく	独自の園見学や就職説明会を開催し、人材確保の強化	ホームページをこまめに更新し、発信内容を工夫	ホームページに取り組みを更新 新規採用者、数名確保
3	保護者や地域の方からいただいた苦情や意見をわかりやすく公表する	苦情解決数や仕組みなどを分かりやすく公開し、開かれた保育園を目指す	園だよりや保護者アプリで保護者からの意見を公開し、ホームページで公表	特に苦情はなかった 保護者の意見に耳を傾け対応した
4	職員の育成・研修の基本方針を策定し、それに応じた研修計画を作成する	計画している”保育研修“の基本方針を事業計画に盛り込む	職員育成の基本方針と実施計画を具体的に入れる	研修計画を立て、職員の育成に努めた
5	園長不在の職務権限を明文化する	園長不在の権限委譲を明確化し、人事育成や組織力の強化	権限委譲を分担表にて明文化する	明文化し、職員間で共通理解している

【職員研修】 ～年間の研修計画を作成～

保育士のスキルアップを目指し、様々な研修に取り組みました。子どもを理解する為に子どもを取り巻く環境に視野を向け、関わり方や援助の仕方を学び合いました。

- ④ 安全管理研修…安全計画を基に、日常のヒヤリハットから何度も話し合い、事故防止に努めました。
- ⑤ 虐待研修…虐待を防ぐための体制づくりや支援のあり方について、講師を依頼し学び合いました。
- ⑥ 人権研修…子どもの人権を守る保育について確認し合い取り組みました。

また、各職員が子どもへのかかわりについて“セルフチェック”を行いました。反省の一部を記載します。

*子どもが不安にならない声かけと、その場に適した言葉を代弁することで安心して過ごせるようにした。
*子ども一人ひとりに応じた関わりができるよう意識し、優しい言葉、柔らかな口調で話すことを心がけた。
*「これしたい」「みたい」の声をしっかり聞いて、子どもの思いを汲み取り日々関わった。
*個々の個性を理解し、その時々に必要な配慮ができるよう保育に取り組んだ。
*優しい言葉かけやスキンシップを多くとり、信頼関係を早く築けるように心がけた。

【一言目標】 ～各クラス前に掲示～

4月に「クラス目標」と、各自の「一言目標」をかかげ掲示することで、日常生活の上で大切にしたい事や保育士として心がけたい事などを目標にして来ました。

1年を振り返り目標を達成することができた事は引き続き取り組み、また新たに来年度への目標を持ち、自身の保育力を高めて行きたいと思います。

